

梅雨の季節になりました。長雨が続きワンちゃん猫ちゃんは外に出たくてウズウズしているのではないのでしょうか。

今からの季節は湿度が高く熱中症になりやすい時期になります。
閉め切った室内や、熱のこもる車の中に置き去りにしないであげてください。
昼間の暑い時間帯の散歩もやめてくださいね。

今月は介護についてふれてみました。私の飼っている犬も高齢期に入り
少しずつ準備をしています。ほんの少しですが参考にしてみてください。



知っていましたか？ワンちゃんでの7歳は高齢期に入ります。
7歳を過ぎても元気な子はたくさんいます。

しかし、愛犬の老化に早く気づき、変化に応じて生活の内容を少しずつ変えてあげることが
これからの老犬生活をすこやかに保つ鍵！！そこで、高齢になって介護が必要になってから
気をつけておきたいことを紹介します。

はじめに！



介護をするようになって頑張りすぎは**ダメ×**

あれもこれもと頑張り過ぎず、手を抜くところは抜いて、心にゆとりを
持ちましょう。

大好きな人が暗い顔をしていると、愛犬だって元気がなくなります。
元気や、やる気を出させるのは飼い主さんの明るさが一番！！

～事故が起こりやすい危険ゾーン～

足腰の疾患の原因になるのが床でのスリップ。

踏ん張りのきかないフローリングや爪の引っかかりやすい
カーペットは要注意。

タイルカーペットなどを敷いてあげましょう。

段差の上り下りが危なくなってきたら、ステップを！

階段を用意してあげましょう。動かない箱でも代用可能。

階段からの転落事故に注意。

階段の所に、通れないようなフェンスをつくりましょう。

家具の角や柱などにぶつかり出血することがあります。

視力が衰えてぶつかりやすくなったら危険な箇所に
気泡シートやタオルを取り付けましょう。



床ずれのしやすい部位はココ

骨の出っ張っている所や、肌と寝床がすれるところが床ずれのしやすい部位です。寝たきりになったらこまめにチェックしましょう。



床ずれは、こう進行する



進行度 1 寝床に当たっている部分の毛が、おれたり切れたりしてうすくなっていきます。



進行度 2 毛がすれてきている部分の皮膚が赤みを帯びてきます。



進行度 3 皮膚が薄くなって水ぶくれができ、触ると熟れすぎた桃のようにプヨプヨとした感じになります。赤みを帯びていた皮膚は白っぽくなることがあります。



進行度 4 水ぶくれが破け、皮膚に穴が開きます。患部からは「滲出液」という怪我を治そうとする液が出始めます。酷くなる前に病院へかかりましょう。

* やわらかいマットに替えてあげるだけでも軽減することができます。

フィラリアの投薬期間に入りました



6月になり、フィラリアの投薬期間に入りました。投薬の前には検査が必要です。検査が済んでいないワンちゃんは検査をし、フィラリアにかかっていないことを確認してからお薬をもらいましょう。

もし、かかっている事を知らずに投薬してしまうと、お薬の副作用が出てしまうことがあります。

検査が済まれている方は忘れずにお薬を取りに来て下さい。
最後の12月までしっかり予防しましょう。

担当 川久保